

システムの衛生維持管理

衛生管理 について

患者間の感染を防ぐために、クリーニングや消毒が必要な時期の決定については、前の患者と現在の患者の状態や使用国の衛生基準に従って、オペレータの責任で行って下さい。

推奨実行頻度

- ・装置全体： 各営業日の開始時と終了時
- ・患者またはオペレータと接触する部分： 患者と患者の間

衛生管理の種類

①クリーニング

その後の処理や意図された使用のために必要な範囲で、汚れや汚染物質を装置から物理的に除去することです。

②消毒

化学的または物理的手段によって病原体およびその他の微生物を破壊するプロセスです。消毒プロセスは、認知されている病原微生物のほとんどを破壊しますが、細菌胞子のような微生物形態をすべて破壊するとは限りません。

③中レベル消毒

ウイルス、マイコバクテリア、真菌、栄養細菌を破壊しますが、細菌胞子は破壊しません。

注意事項

衛生手順に関する一般的な注意事項

清潔なマイクロファイバー布を使って部品を丁寧にクリーニングします。
必要に応じて、洗浄剤を布に湿らせてご使用下さい。クリーニング用に使用した液体が表面に残らないように注意してください。液体との長時間の接触により、表面の色があせたりする場合があります。

適切な洗浄方法が使用されていることを確認してください。
装置を破損させる恐れがあるような洗剤と殺菌剤の使用は避けてください。

注意

- 高温でのクリーニングや消毒は行わないこと。
- 適切な洗浄剤を使用すること。本取扱説明書で推奨されている衛生・クリーニング剤のリストを参照してください。
- 新たな検査を開始前に、患者と接触した部分は、クリーニング、消毒、すすぎ、乾燥を行うこと。

①液体の侵入に対する予防

- 装置の損傷を防ぐために、液体が装置に入らないようにしてください。
 - 装置内部に絶対に液体を侵入させないこと。
 - 装置に洗浄スプレーや液体を直接吹き付けないこと。必ず、製造元の指示に従って清潔な布に湿らせてから使用してください。
- 装置の損傷を防ぐために、操作ボタンの周りや可動部分の縁などから液体が中に流れ込まないように十分に注意してください。液体が入ってしまった可能性のある場合使用前に、電源コンセントを抜いてサービスエンジニアの点検を受けて下さい。
- 装置の損傷を防ぐために、電気要素や金属部品を液体に浸けないでください。
 - 電気コンポーネントを含む装置部品は絶対に液体に浸けないこと。
 - 液体が中に入らないよう注意しながら、湿らせた柔らかい布を用いてクリーニングすること。

②装置の寿命前の摩耗の防止

装置の素材成分との化学反応、特にプラスチックの磨耗を避けるために、クリーニングあるいは滅菌作業の後は、ぬるめの石鹼水で湿らせた布を使用して部品を洗浄及びすすぐことが非常に重要です。

部品はすべて破損しやすいため、クリーニング中に、クリーニング用の器具を装置にぶつけないでください。

③クリーニング/ 殺菌剤の使用のための一般的な注意事項

警 告

常にクリーニング剤または殺菌剤の製品使用上の説明や注意に従って、混合、保存、使用方法、使用時間、すすぎの必要性、防護服、有効期限、処分方法などに充分注意し、効果的かつ安全に使用してください。

警 告

装置の損傷を防ぐために、リスト記載のベンダーの製品がすべて使用可能であると、仮定しないでください。本取扱説明書に明確に記載されている製品のみがGE によって試験されたものです。ご使用の製品が本書に記載されていない場合は、その製品について、GE マンモグラフィー装置での使用評価がなされていないということを意味しますが、使用できないという意味ではありません。

警 告

クリーニング剤または殺菌剤を使用しても装置に損傷を与えないかどうかの確認は、ユーザーの責任で行ってください。クリーニング剤や殺菌剤に添付されている製品の使用説明書や医療用安全データシートを参照し、本書に記載の要件を満たしているかどうか確認してください。

注 意

皮膚の炎症を避けるために、炎症を引き起こす可能性のあるクリーニング剤や消毒剤を使用した後は、クリーニングされた表面を必ず十分にすすいでください。

特殊部品のクリーニングに関する注意事項

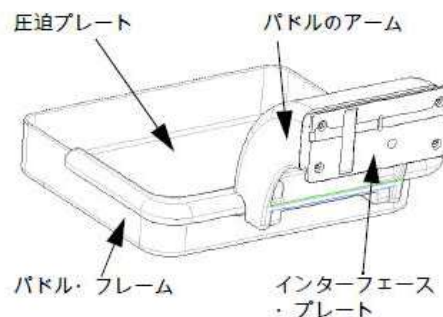
①デジタル検出器のクリーニング

注 意

デジタル検出器のクリーニングを行う必要がある場合は、オペレータの指が挟まれたり怪我をしたりするリスクや、電気ショックまたは電気接続のショートのリスクを避けるために、まず装置の電源がオフになっていることを確認してください。クリーニング中に電源が入っていると、乳房サポートのロック機構が作動する恐れがあります。

②パドルのクリーニング

圧迫パドル式は絶対に液体に漬けないで下さい。
パドルの圧迫プレートとパドル・フレームは、必要に応じて適切な消毒剤に漬けることができます。
インターフェース・プレートは絶対に液に漬けないで下さい。
金属部分が損傷する恐れがあります。



③モニターとコンソールのタッチスクリーンのクリーニング

乳房撮影画像を読影する目的で使用するモニター装置は、常に指紋や埃などのない清潔な状態に維持することが特に大切です。

タッチスクリーンは1日2度程度の清掃をお奨めいたします。

注意

モニターのフロントパネルとコンソールのタッチスクリーンは大変傷つき易くなっています。
付近で作業中に引っかかり傷や物をぶつけたりして損傷を与えないよう充分な注意が必要です。
柔らかいマイクロファイバーの布に軽く水を湿らせて拭いてください。

④キーボード、コンソール、マウスのクリーニング

キーボード、コンソール、マウスにクリーニング液や消毒液が侵入しないようにしてください。

衛生管理手順に推奨される薬品

薬品の選択

- きつい洗浄剤、研磨クリーナー、強すぎる消毒剤/ 滅菌剤は使用しないで下さい。
 - 選択する洗剤は、以下に適合していなければなりません。
 - 使用国の衛生および環境に関する基準と慣行。一部のクリーニング剤や成分が必要であったり、禁止されている場合があります。
 - 業務上の衛生安全規則。特定のクリーニング剤を使用するよう指示されている場合があります。
 - 洗剤の反応性に関するガイドラインにより、特定の状況での使用が禁じられている場合があります
(例えばクリーニング剤のガイドラインに「透明なプラスチックには使用しないで下さい」と記載されている場合など)。
 - 洗剤の効果が発揮されるよう、製造元の使用説明書や医療用安全データシートに従って下さい。
 - 装置表面に対する腐食性が高い洗剤は使用しないで下さい。
- 例：
- 濃度にかかわらずメタノールは使用しないで下さい。
 - ベンジンなどの溶剤、大部分の染み抜き剤を含む洗剤は使用しないで下さい。

クリーニング製品

推奨されるクリーニング商品（非接触部品）

コンポーネント	推奨される洗浄剤
2D 十字位置決め装置 ハンドレスト モニター フットスイッチ ガントリーのディスプレイ X 線コンソール キーボード マウス キーパッド デジタル 検出器 ガントリー・コラムのカバー ガントリー・アームのカバー コントロール・ステーションのカバー 放射線遮蔽板	水または水とエチルアルコール(96%以上)

中レベルの消毒剤 推奨される消毒剤（接触部品）

使用	推奨される消毒製品	部品	
		圧迫/パドル、乳房サポート、フェースシールド	患者制御の圧迫装置
クリーニング/消毒	PI-Spray II、PI 製品	○	○
クリーニング/消毒	Super Sani-Cloth、Sani-Cloth Bleach および Sani-Cloth Plus Germicidal Disposable Wipes、PDI 製品	○	○
クリーニング/消毒	CaviWipes、Metrex 製品	○	○
クリーニング/消毒	Dispatch Hospital Cleaner Disinfectant、拭き取り布、Clorox 製品	○	○
クリーニング/消毒	Alcohol Wipes、Clinell 製品	○	○
クリーニング/消毒	Instrunet、スプレーまたは液体、INIBSA 製品	○	○
消毒	Umonium 38 拭き取り布、スプレーまたは液体、Huckert's International 製品	○	○
消毒	Surfa'Safe 液、Anios 製品	○	○
クリーニング/消毒	MIKROBAC Tissues 80St (REF 981387) 拭き取り布、Hartman 製品	○	○
クリーニング/消毒	Tuffie Disinfectant Wipes Canister、Vernacare 製品	○	○
混合液			
消毒	漂白剤と水の希釈液（10%）	○	○
消毒	過酸化水素と水の希釈液（3%）	○	×

注意

製品、とりわけ調製された混合液と拭き取り布が、抗菌効果を失わない適切な方法で保存されていることを確認してください。

消毒後のすすぎ

もう一度、きれいな水ですすぎ、柔らかい布で拭いて残った消毒剤を完全に取り除く必要があります。

水分が装置内部に入らないように十分注意して下さい。

消毒後の乾燥

柔らかい清潔な布で完全に拭き取ります。